

## ■羽田盃(S I)アラカルト(過去 10 年の分析)

※第 57 回は 2 頭が 3 着同着

※記録は 4 月 1 日時点のもの

### ■京浜盃の 1 着馬が 4 勝

◇この 4 勝中 3 回が偶数回

第 52 回優勝 トップサバトン(京浜盃 1 着)

第 54 回優勝 ナイキハイグレード( " )

第 56 回優勝 クラーベセクレタ( " )

第 59 回優勝 ハッピープリント( " )

◇奇数回の優勝馬は、5 頭中 2 頭が京浜盃の不出走組

第 51 回優勝 サンキューウイン(←クラウンカップ 1 着)

第 53 回優勝 ニックバニヤン(←京浜盃 10 着)

第 55 回優勝 シーズザゴールド(←京浜盃 2 着)

第 57 回優勝 アートサハラ(←チューリップ特別 1 着)

第 59 回優勝 ハッピープリント(←京浜盃 1 着)

◇羽田盃 3 着以内 31 頭中、半数以上の 20 頭が京浜盃出走組

※京浜盃出走組は 8 勝、2 着 7 回、3 着 5 回。3 着内率 64.5%。

※20 頭中、京浜盃で掲示板を外していたのは、第 53 回優勝ニックバニヤン(10 着)、第 60 回優勝  
ストウディウム(11 着)、同 3 着ラッキープリンス(16 着)の 3 頭。

※京浜盃 1・2 着馬のワンツーは第 52 回・54 回の 2 度。

### ■全日本 2 歳優駿の 3 着以内の馬に注目

※前年の全日本 2 歳優駿 3 着以内の馬は 7 頭が出走し、2 勝、2 着 2 回、3 着 2 回と大健闘。

第 52 回 2 着 アンパサンド(全日本 2 歳優駿 3 着)

第 52 回 3 着 フリオース(同 1 着)

第 53 回 2 着 ディラクエ(同 2 着)

第 54 回優勝 ナイキハイグレード(同 3 着)

第 55 回 3 着 プンブイチドウ(同 2 着)

第 59 回優勝 ハッピープリント(同 1 着)

※第 58 回は全日本 2 歳優駿で 4 着以下だった 3 頭が上位 3 頭を占めた。

### ■ホッカイドウ競馬の出身馬が 10 年連続で連対中

◇第 51 回以降、10 年連続で連対中。

◇過去 10 年では 6 勝、2 着 5 回、3 着 3 回の好成績。

■船橋所属馬が6勝で優勢

◇TCK所属馬 4勝、2着3回、3着3回。3着内率 32.3%

◇船橋所属馬 6勝、2着5回、3着2回。3着内率 41.9%

◇川崎所属馬 0勝、2着2回、3着5回。3着内率 22.6%

◇浦和所属馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率 3.2%

※3着馬は11頭

■外国産馬は優勝なし

※出走は第51回4着のバンクレイド1頭のみ

■牝馬は1勝

※牝馬は8頭が出走して1勝2着1回、3着1回

第54回3着 モエレエターナル

第56回優勝 クラーベセクレタ

第57回2着 エミーズパラダイス

■前走の着順は3着以上が望ましい

※前走4着以下の馬は、2勝、2着3回、3着4回と不振。

■優勝馬8頭が年明け1～2戦している

◇1戦 4勝、2着1回、3着1回

◇2戦 4勝、2着6回、3着2回

◇3戦以上 2勝、2着3回、3着8回

※年明け初戦での優勝馬はなし。

※3着馬は11頭。

■逃げ切りは1回

※第51回サンキューウイン。

■1・2番人気馬が7勝

◇1番人気馬 3勝、2着4回、3着1回。3着内率 80.0%

◇2番人気馬 4勝、2着1回、3着2回。3着内率 70.0%

◇3番人気馬 0勝、2着3回、3着2回。3着内率 50.0%

## ■東京ダービーとの関連

◇羽田盃・東京ダービー連覇は2頭

※第56回優勝 クラーベセクレタ

※第59回優勝 ハッピープリント

◇羽田盃2着から東京ダービーを制したのは2頭

※第52回2着 アンパサンド

※第55回2着 マカニビスティ

◇羽田盃3着以下から東京ダービーを制覇したのは3頭

※第57回3着 プレティオラス

※第58回3着 インサイドザパーク

※第60回3着 ラッキープリンス

## ■戸崎圭太・石崎駿騎手が2勝

※戸崎圭太騎手は54回、56回で、石崎駿騎手は54回、60回でそれぞれ優勝。

## ■故川島正行調教師が3勝

※第54回・第56回・第58回で優勝。2着2回、3着1回の好成績。

※第55、57回優勝の荒山勝徳調教師が2勝で続く。

## ■⑭番以降は3着以内なし

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	0	0	2	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0
2着	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	3	1	1	0	0	0
3着	0	2	1	1	1	1	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0

## ■羽田盃(S I)アラカルト(過去全60回の分析)

※第1回から第8回までは大井杯競走で実施

※第1回から第11回までは1800mで実施

※第12回から第40回までは2000mで実施

※第41回から第43回までは1800mで実施

※第44回から第46回までは1600mで実施

※第 47・48 回は 1790mで実施

※第 49 回以降は 1800mで実施

※第 19 回、第 57 回は 3 着同着のため 3 着馬は 62 頭

※記録は 4 月 1 日時点のもの

### ■1・2番人気馬が優勝馬60頭のうち50頭を占める

◇1番人気馬 26勝、2着8回、3着6回。勝率43.3%、3着内率66.7%

◇2番人気馬 24勝、2着14回、3着7回。勝率40.0%、3着内率75.0%

◇3番人気馬 3勝、2着13回、3着15回。勝率5.0%、3着内率51.7%

※第25回～第48回まで連続して1番人気馬あるいは2番人気馬が優勝。数あるTCK重賞の中でも上位人気馬の強さが際立つレース。

※とくに2番人気馬は3着内率75.0%の堅実さ。

### ■上位人気3頭から優勝馬が出る確率はほぼ9割

◇60回中53回は、3番人気以内の馬による優勝。その確率88.3%

◇60回中30回は、3番人気以内の馬によるワンツー。その確率50.0%

◇60回中14回は、3番人気以内の馬によるワンツー・スリー。その確率23.3%

### ■無敗の戴冠は6頭

※各馬の戦績は羽田盃前のもの。

◇第27回 ホスピタリティ(7戦7勝)

◇第32回 シナノデービス(4戦4勝)

◇第38回 ブルーファミリー(6戦6勝)

◇第42回 キャニオンロマン(4戦4勝)

◇第45回 イエローパワー(3戦3勝)

◇第46回 トーシンブリザード(4戦4勝)

※第48回ナイキアディライトはJRAの芝コースで負けていたが、ダートでは4戦4勝。

※第 50 回シーチャリオットは南関東限定戦では、やはり 4 戦 4 勝だった。

※第 59 回ハッピーズプリントは JRA 戦以外は 6 戦 6 勝だった。

### ■牝馬の優勝は5頭

◇第 4 回 ハルセキト

◇第 26 回 コーナールビー

◇第 34 回 ロジータ

◇第 37 回 カシワズプリンセス

◇第 56 回 クラーベセクレタ

### ■外国産馬は1勝

※第 50 回シーチャリオットの 1 勝のみ。

### ■羽田盃と東京ダービーを連覇した馬は25頭

※その確率は 41.7%。

### ■的場文男騎手が現役最多の6勝

※第 30、32、38、41、43、53 回で優勝。

※あと 1 勝すれば赤間清松元騎手の 7 勝に並ぶ。

※現役騎手で複数勝利を挙げているのは的場文男、石崎隆之、内田博幸、戸崎圭太、石崎駿の 5 人。

### ■出川己代造調教師が7勝

※故川島正行調教師は 4 勝、第 50、54、56、58 回で優勝。

※第 55、57 回優勝の荒山勝徳調教師が 2 勝で続く。

### ■③番が10勝で断然

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	3	1	10	7	5	4	5	4	6	4	3	4	1	1	1	1
2着	7	5	8	8	3	4	3	3	6	2	3	3	2	1	1	1
3着	8	10	2	9	5	6	3	5	2	1	1	5	3	0	2	0

### ■枠番も③枠が圧倒的に強い

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	4	3	16	9	9	8	6	5
2着	11	8	6	11	7	7	5	5
3着	12	11	4	13	6	7	4	5